

総合問題 (社)

(問 題)

2023年度

〈2023 R 05170015(総合問題 (社))〉

注 意 事 項

- 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 問題は2～7ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- 記述解答用紙記入上の注意
 - 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

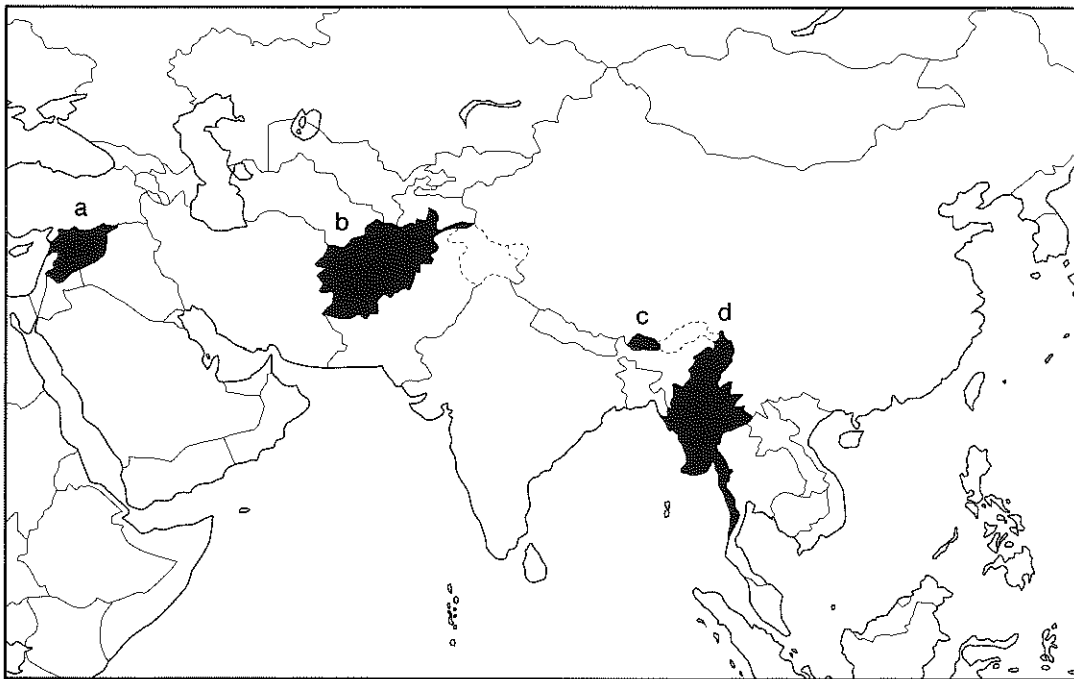
	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

- 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
- いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 20世紀は「難民の世紀」と言われたが、21世紀になっても、人道危機により故郷を追われた人の数は増え続けている。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によれば、紛争や迫害などにより移動を強いられた人の数は、2021年末で8930万人にのぼり、そのうち難民は2710万人（パレスチナ難民を含む）、国内避難民は5320万人、庇護希望者は460万人などとなっている。このように年々深刻化する難民問題について、問1と2に答えなさい。

問1 下の地図の中で黒く塗りつぶしたa、b、c、dの4カ国は、いずれもアジア地域における難民の発生国である。以下のA～Dの説明のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- A aはシリアである。2003年、長年、強権的な政治を行ってきたフセイン政権が崩壊したことで多数の難民が発生した。国民の半数以上が故郷を離れている。
- B bはアフガニスタンである。1979年のソ連の軍事侵攻をきっかけとして内戦状態となり、戦火を逃れるため数百万人がパキスタンやイランに流出した。
- C cはネパールである。言語、宗教を異にするインド系の人々に対する政治的な迫害、軋轢により、多くのインド系住民がインドへ逃れた。
- D dはミャンマーである。ロヒンギャだけでなく、民主化を求める約9万人のクメール、マレー系住民たちも政府の迫害を恐れ、隣国タイで難民生活を続けている。



問2 下の資料①は難民流出のメカニズムについて書かれた論考で、資料②はミャンマーからバングラデシュへ逃げてきたロヒンギャ難民の帰還についての新聞記事である。ロヒンギャ難民問題の場合、資料①で言及されている流出の「素因」と「要因」は具体的にどのようなものだったのか。350字以上450字以内で述べなさい。

<資料①>

※この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

[小泉康一 (2022)『彷徨するグローバル難民政策－「人道主義」の政治と倫理』日本評論社, pp. 7－8.]

<資料②>

(世界発2019)「ロヒンギャ『帰りたくない』 ミャンマー当局へ不信感 バングラへ避難1年半」

バングラデシュ南東部コックスバザール郊外。竹の骨組みをシートで覆った無数に並ぶ簡易住居の一つを訪ねた。電気のない難民キャンプはどの家も薄暗い。

「連れ戻され、殺されるなら自分で死ぬ方がいいと思った」。デイル・モハマドさん(60)が声を絞り出した。ここでの生活が1年半を超えた。

昨年11月。殺虫剤を水に混ぜ一気に飲んだ。1週間後に始まる予定だった難民帰還の第1陣リストに自分の名前があった。「知らないところで準備が進んでいた」。気を失い、キャンプの医療施設で一命を取り留めた。

帰還を拒むのは、ミャンマー側から逃れる時の光景が目に焼き付いているからだ。「村が焼かれ、遺体が転がっていた。(ミャンマー)軍の仕業だ」

約70万人が難民になる発端は、2017年8月のロヒンギャ武装組織アラカン・ロヒンギャ救済軍(ARSA)による警察襲撃事件だった。これに対し軍や警察が掃討作戦を実施。ミャンマー側は否定するが、国連などによると多数のロヒンギャが殺され、家を焼かれたとされる。

両政府は昨年11月、難民約2千人の帰還を始めるとしていた。だが別の帰還対象者のヌルル・アミンさん(50)は「用意された10台ほどのバスに乗る人はいなかった」と振り返る。帰還は先延ばしになった。

「今の状況で帰りたい人はいない」とアミンさんは言う。難民の多くが帰還の条件とするのは、ミャンマー国籍の付与、掃討作戦をした治安部隊の訴追、そして帰還後の安全確保だ。

ミャンマー政府は、国内居住歴が確認できた難民には国籍申請資格のある身分証を渡すとしている。だが、同じく帰還リストに名前があったモヌ・マジヒさん(49)は「信用できない」と言う。

ロヒンギャの住んでいたラカイン州では、仏教徒らが帰還に反対。約200人が死亡した12年の仏教徒との衝突で国内避難民になった10万人超のロヒンギャですら、州内の避難民キャンプから戻れないでいる。「ましてや国外に逃れた我々が戻って、安心して暮らせるはずがない」とマジヒさんは吐き捨てた。

[[『朝日新聞』2019年4月10日朝刊]]

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

出典：「(世界発2019)ロヒンギャ『帰りたくない』
ミャンマー当局へ不信感 バングラへ避難1年半」(朝
日新聞 朝刊 2019年4月10日。承諾番号：23-1637)
※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる

Ⅱ 社会的事象を多面的・多元的に捉えることの重要性が語られるようになって久しい。しかし、それが意味するところは必ずしも自明ではない。下の資料①と②を読んで、問1と2に答えなさい。

問1 見方の多様性についての田野氏と宮台氏の見解の違いを75字以上125字以内で説明しなさい。

問2 なにが両氏に見解の違いをもたらしているか。あなたの考えを300字以上400字以内で述べなさい。

<資料①> 「看過できない自由もある」 田野大輔さん（ナチズム研究者）

私が専門とするナチズムの領域には、「ナチスは良いこともした」という逆張りがかねてより存在します。絶対悪とされるナチスを、なぜそんな風に言うのか。私はそこに、ナチスへの関心とは別の、いくつかの欲求があると感じています。

ナチスを肯定的に評価する言動の多くは、「アウトバーンの建設で失業を解消した」といった経済政策を中心にしたもので、書籍も出版されています。研究者の世界ではすでに否定されている見方で、著者は歴史やナチズムの専門家ではありません。かつては一部の「トンデモ本」に限られていましたが、今はSNSで広く可視化されるようになっていきます。

ツイッターで私が「ナチスの政策で肯定できることはない」と発言すると、多くの反発がありました。私にナチスの「良い政策」を示し、「こんなことも知らないのか」とばかりにあざ笑う人もたくさんいました。そんな反応を見て、逆張りの根底にある二つの欲求に気づきました。

一つは、「正しいこと」に縛られずに自由にものを言いたいという欲求です。ナチスの政策について知りたいわけではなく、ナチスは悪といった「正しさ」を息苦しく感じている。もう一つが、「他の人が知らないことを知っている」と誇示し、知的優位に立とうとする欲求です。この二つの欲求は、近年問題になっている陰謀論にはまる動機とも、共通しているように思います。

重要なのは、こうした逆張りは、需要があるから存在しているということです。ナチスについての暴論をなぜ少なからぬ日本人が称賛するのかと言えば、「正しい歴史」をひっくり返すための突破口として最適だからでしょう。世界中のだれもが認める「ナチス＝悪」が絶対じゃないとなれば、日本の戦争責任だって絶対じゃなくなる。それを信じたいという需要があるから、存在しているのです。

私はナチスの逆張りに対しては「間違っている」と言い続けてきましたし、これからも言い続けなければいけないと考えています。信じたい人たちを説得することは無理でも、「もしかしたらそうなのかも」と思っている人たちに、専門家の姿勢を示すことはできます。

「しょせんSNSの世界の話じゃないか」と思う人もいるかもしれませんが。しかしいずれ現実の世界に拡散し、より多くの人の目にふれるかもしれない。そして「どちらが正しいか」の判断が人気投票に委ねられてしまいかねません。様々な見方すべてに、等しく価値があるわけじゃない。妥当性の高いものと低いものが存在しています。「逆張りの自由」を看過するわけにいきません。

【『朝日新聞』2022年5月28日朝刊】

※ページ下部に出典を追記しております。

<資料②> 『『ここではないどこか』求めた若者』 宮台真司さん（社会学者）

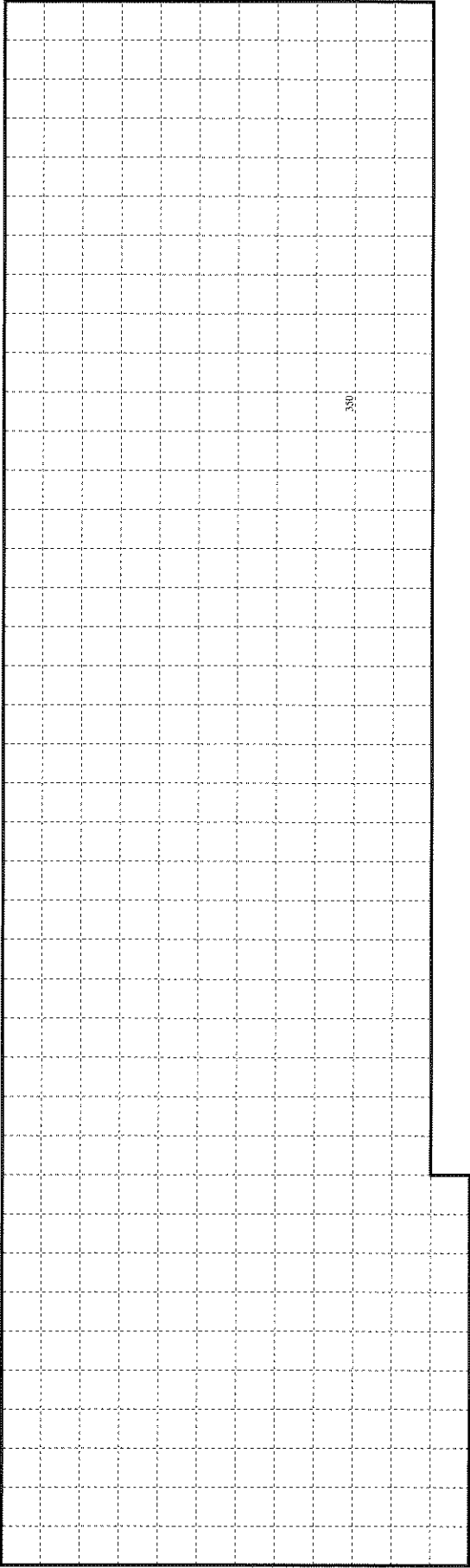
※この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

〔『朝日新聞』2022年5月29日朝刊〕

*テルアビブ事件のこと。1972年5月30日に日本の若者3人がイスラエルの空港で銃を乱射した。

I
問2



II 問

75

問 2

A full-page view of a blank sheet of graph paper. The page is covered by a uniform grid of small squares formed by dashed lines. A solid black border runs along the top edge of the page. In the upper right corner, there is a small, faint number '300' oriented vertically.

[以下余白]

<2023 R05170015 (総合問題(社))>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

採点欄	〔Ⅰ〕問1		〔Ⅰ〕問2		〔Ⅱ〕問1		〔Ⅱ〕問2	
	＋	－	＋	－	＋	－	＋	－

<2023 R05170015 (総合問題(社))>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

総合問題(社)

(解答用紙)

- 注 意
1.

受験番号(算用数字)・氏名は指示に従ってただちに所定欄に記入し、それ以外に記入してはならない。
2.

解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
3.

解答はHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで書くこと。
4.

試験終了時にはこの解答用紙を裏返して机の上に置き、指示を待つこと。

〔Ⅰ〕問1

＋	－

問2

＋	－

〔Ⅱ〕問1

＋	－

問2

＋	－